

2014年 春闘キャラバン学習会

再び「人からコンクリート」 に戻って賃金や生活は よくなるのか



〈森 裕之氏プロフィール〉

1967年大阪府生まれ。

2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害(アスベスト問題など)についても公共政策論としての立場から考察。

著書に、「公共事業改革論」2008/03、論文「『国土強靱化』と公共事業」2014/07、その他、多数。

2009年、民主党は「コンクリートから人へ」というスローガンを掲げ政権交代をしました。建設された社会資本がほとんど活用されないとか、大規模な自然環境破壊、巨額な財政赤字の累積などの批判に対しての政策でしたが、その後復活した自民党が、東日本大震災を契機に防災の名で再び、「国土強靱化」という新しい名称で「人からコンクリート」への道に突き進んでいます。和歌山県でも知事が、一時凍結された不要不急の「紀淡海峡道路」を推進するように表明しています。しかも土建国家の復活を公務員の人員減、賃下げ、退職金の大幅削減でやろうとしており、これで本当に雇用が増え賃上げが実現するでしょうか。労働組合としてどう考えたらいいのかを学びます。

2月26日(水) 18:30受付 18:45分講演

講師：森 裕之 氏 (立命館大学教授)

市勤労者総合センター6F文化ホール 参加費500円

(市役所西側すぐ) ※市役所北側駐車場か市教組駐車場をご利用ください。

主催：和歌山県国民春闘共闘会議、和歌山市国民春闘共闘会議、和歌山県勤労者学習協会